

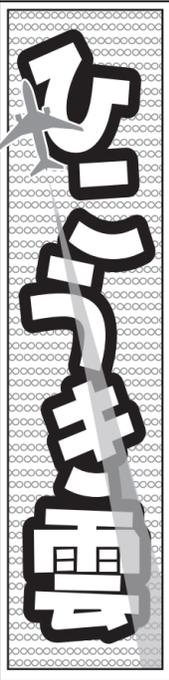
ようやく、太陽光発電設備が成熟期を迎えました!

今まで、松下孝建設では太陽光発電の設置を積極的に勧められてきました。それは当初の太陽光発電設備が高額だったからで、太陽光発電を設置された皆様は全てZEH(ゼロ・エネルギー・ハウス)が実現していると共に売電収入にご満足されています。また、ほとんどの設備が5kW程度の設備で、松下孝建設では10kW以上の営業用設備の設置をお勧めしてきてきました。松下孝建設が問題にしていたのは高額の売電価格を目当てに営業用設備の10kW以上を搭載させた住宅の販売手法でした。確かに家庭用設備が10年間に、営業用設備は20年間という買い取り期間がありますから有利に考えられますが、設備費用の回収は10年で回収するシステムがほとんどです。この住宅建築費用まで売電で

もうビジネスモデルは一時、非常にもはややされましたが、売電価格の減少で、現在では下火になっています。

今こそ太陽光発電の補助金75万円の活用。

住宅性能を考慮して太陽光発電、蓄電池の活用が本格的に可能な時代になりました。松下孝建設もZEH(ゼロ・エネルギー・ハウス)を本格的に推進します!



発行所
松下孝建設
発行人 松下 孝行
編集責任 齋藤 恭誠
■本社
〒891-0108
鹿児島市中山1丁目14-29
TEL 099-267-7594
FAX 0120-079-089



売電価格の低下は設備費の大幅な低下に繋がっている。

売電価格が低下してから太陽光発電の設置は減りましたが、そのために太陽光発電設備は大幅に値下がりしています。日本製以外の設備も海外から入ってきており、低価格のパネルでは1kW、20数万円で購入できる設備もあるようです。このように設備に関してはピンからキリまで販売されています。

経済産業省の「太陽光発電普及加速事業補助金」75万円!

平成29年度、ZEH登録事業者として松下孝建設でも、太陽光発電の設置に、ゴーサインを出すことに致しました。

松下孝建設は「ZEH登録ビルダー」です。

ただ、ここで申し上げておきたいのは松下孝建設の住宅性能では40坪未満の住宅なら、3〜4kWでも十分にZEH(ゼロ・エネルギー・ハウス)が可能なのです。設置して足りなければ追加設置も可能です。また、蓄電池もかなり安くなっていますから、これらを併用してZEHを実現することも可能です。補助金をもらうために過剰な設備を行って、メンテナンスや更新費用の心配をする必要が無いように、住宅の大きなことから類推して、補助金をもらう必要が無い設置規模もあります。新築計画がある方は早めに弊社、ホームアドバイザーにご相談ください。公募には期間と予算が必要になります。補助金の申請には申請

この度「ZEH登録事業者」として松下孝建設でも、太陽光発電の設置に、ゴーサインを出すことに致しました。

別正ししい試算を行います。この設置費用に対し75万円の補助金は非常に魅力的です。

図書が必要になります。申請するからには貰えるように、早期に図書類を用意する必要があります。

ZEHの未来的な予測について考えて見ると。

国のロードマップでは、今から4年後の2020年までに「標準的な新築住宅でZEHの実現を目指す」とあります。さらに、2030年までには「新築住宅の平均でZEHの実現を目指す」と書かれています。「標準的な新築住宅で」という表現のうちに、違いがよくわからない言葉で書かれています。また、現在のZEHは完璧なZEHとは言えません。それは冷・暖房等の一次エネルギーと

図書が必要になります。申請するからには貰えるように、早期に図書類を用意する必要があります。

松下孝建設の「HERT20」モデル2棟の特別公開!

松下孝建設がいま建築している「HERT20」の実験棟は住宅性能で暖房エネルギーの大部分を賄い、エアコン一台で快適な住空間を維持できる高性能住宅です。太陽光発電の搭載で生活エネルギーの全てが賄える究極的な高性能住宅です。是非この機会に、本格的な未来型高性能住宅を体感してください。

図書が必要になります。申請するからには貰えるように、早期に図書類を用意する必要があります。

加世田展示場 公開中!

ハイブリッド・エコ・ハートQ 「エアコン1台、全室低温空調暖冷房」

加世田展示場は将来、ZEH(ゼロ・エネルギー・ハウス)の為に太陽光パネルが取り付けられる様に大屋根構造になっています。また、新しく開発された新型暖冷房空調システムが取り付けられており、夏も冬も低温空調による省エネルギーで快適なシステムが稼働する予定です。平屋感覚の住宅ですが、屋根構造を活かして一室だけ2階に居室が設けられています。大きな開口部と大屋根の今までの加世田にはない全く新しいコンセプトで設計された住宅ですから是非、ご覧頂きたいと思えます。この展示場で新しい松下孝建設に出会えることと存じますので、ご家族の皆様でお出かけください。心からお待ち申し上げます。

鹿児島展示場 公開中!

松下孝建設の最新空調システム 「エアコン1台、全室低温空調暖冷房」

鹿児島展示場は、「ゼロ・エネルギー・ハウス」対応のモデルハウスです。松下孝建設の『ハイブリッド・エコ・ハートQ』工法は、エネルギー消費が少なく、多くのお施主様が現状のオール電化・電気料金と太陽光発電の設備費用を比較した場合、現状での設備設置を望まれないため、いつでも設置可能なように屋根も太陽光発電対応にしています。発電設備は太陽光発電ばかりではなく「エネファーム」などに選択肢が広がっている他、蓄電池も設置可能なまでに安くなり、「プラグイン・ハイブリッド自動車」での蓄電も可能です。最良の設備が現れるまで、設備の搭載をお待ちいただく事も選択肢のひとつと位置づけ、本展示場は発電設備の搭載を見送っています。

川内展示場 公開中!

ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2013大賞仕様住宅

川内展示場は【ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2013】大賞受賞工法の展示場です。エアコン一台程度で冬も夏も快適な暖冷房を可能とした省エネルギー、超高性能住宅です。本展示場は無事売却の運びとなりました。多数のご応募頂き有難うございました。現在、展示公開は継続しておりますので、是非ご覧ください。お待ちしております。

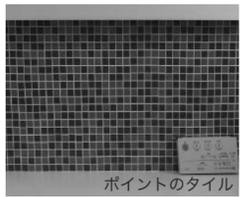
住宅に関する資料等もフリーダイヤルにてご請求下さい。資料等をお送り致します。 0120-079-089



K邸外観



キッチン内部



ポイントのタイル



キッチンとダイニング



リビング

松下孝建設を選ばれた理由をお聞かせ下さい。

「最初に、松下さんのことは全く知らなかったのですが、職場の友達から伊集院で『オープンハウス』をしているから見に行ったら、と勧められて、見学させていただき、こんな素敵な家もあるのだと主人の両親と一緒に再度訪問して、松下孝建設さんを知りました。営業の方に熱く語っていただいていたので、なるほどと思うところがあり、もう一軒見

「この住宅は前が公園、中庭から丘陵になっていて、全く人目がない位置にあるので、この家にママ友が集まるので、夕方まで皆さんのんびり過ごされています。○○カフェと呼ばれています。子供達も伸び伸びと遊べますから、この家がママ友の集合場所になっています。」

四季折々、本当に素敵な家です。外ばかりでなく、室内も様々な設計上の工夫があって、和室の周囲が回遊式になっていて、温熱環境的にも素晴らしい効果があります。」と奥様。

K邸はママ友さんから○○カフェと呼ばれる素敵な家でした。

本物とは、何か？ 百年住宅を建てる知識③！

お施主様ご訪問 「松下孝建設」のお施主様にお聞きしました。

「建築を知っている友人が来るたびに、この家に対するお友達のご感想をお聞きすると。」

「建築を知っている友人が来るたびに、この家に対するお友達のご感想をお聞きすると。」



奥様とお子様

「全て気に入っていますが、強いて言えば、キッチンです。」

「窓にも驚かれますよ。家の前が公園ですから、時には大勢の人が集まることもあるんですが、音がうるさいと感じた事はありません。友人はこんな高性能な窓を鹿児島で採用している住宅メーカーがあることに驚いていました。」

「それ以前に住んでいた集合住宅では、窓の近くは寒くて結露がひどい。この家は、窓の近くは寒くないし、結露もありません。友人はこんな高性能な窓を鹿児島で採用している住宅メーカーがあることに驚いていました。」



ダイニングと壁

「主人は非常に無口な人ですが、家についてはほとんど何も言いません。何も言わないという事は逆に、非常に気に入っていると言っているんです。」

最後に御主人はどのような感想なんでしょうか？

「主人は非常に無口な人ですが、家についてはほとんど何も言いません。何も言わないという事は逆に、非常に気に入っていると言っているんです。」

「主人は非常に無口な人ですが、家についてはほとんど何も言いません。何も言わないという事は逆に、非常に気に入っていると言っているんです。」

HOUSE OF THE YEAR IN ENERGY 2016 ハイブリッド・エコ・ハートQ 「特別優秀賞」・「特別優秀企業賞」W受賞!!

「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー」主催(財)日本地域開発センター[主務官庁:国土交通省]において、松下孝建設のハイブリッド・エコ・ハートQが、「特別優秀賞」及び「特別優秀企業賞」を受賞しました。「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー」に変更になって以来、2013年度の大賞を含め連続4度のダブル受賞となりました。偏にお施主様のご協力の賜と深く感謝申し上げます。



「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー」は「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エレクトリック」を継承した国土交通省の外郭団体である(一般財)地域開発センターが主催する住宅のエネルギー消費削減を目指した住宅性能に関する審査会です。



住宅造りに失敗しない工法の基礎をお知らせ致します。

松下孝建設が発刊した「百年住宅を建てる知識」を紹介致します。記事内容に興味のある方は、松下孝建設のホームページや☎0120-079-089でお申し込み頂ければ進呈致します。大切な家族のための住宅ですから、より快適な住環境を求めて、様々な施工店の工法を検討されていると思いますが、中には根拠が薄弱で欠陥を引き起こす危険性がある工法など、選択しない方が無難な工法もあります。2020年にはZEH(ゼロ・エネルギー・ハウス)が標準化されます。この小冊子は、誰も詳しく教えてくれない工法による断熱や気密の違いや根拠、ヒートポンプによる「低温暖冷房システム」の基本について解説しています。皆様様の住宅建築にお役に立てれば幸いです。

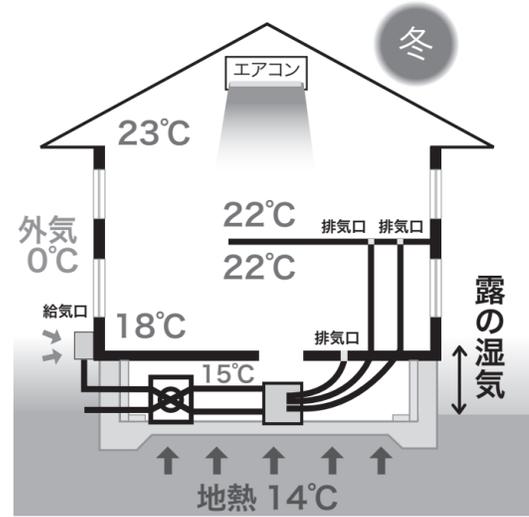
■この様な図には注意が必要、換気装置を基礎内部に設置する根拠を明らかにしてもらえます。

■この図で気になるのは温度差ですが、エアコン暖房で、天井付近は23℃、2階床は22℃、1階床は18℃、基礎は15℃、地中熱14℃の温度構成になっていますが、天井23℃、床が18℃では、上下温度差が5℃もありますが、これでは温度差がありすぎです。断熱・気密性能が確かな住宅ではこの様な温度差にはなりません。

■5℃の温度差があると、図のようにエアコン1台での暖房では、無理があります。床の隙間や基礎の隙間から外気が吹き込んでいきます。外気は吹き込まないとしても、1階のガラス面など、温度が低い部分から冷放射が発生します。体感温度は22+18÷2=20℃ということになりますが、床温度が18℃で基礎内部の温度が15℃では、3℃の温度差があり足元が冷たく感じます。

■給気口に特殊なフィルターを装備しているようですが、この様な低位置では、集塵よりも先に露などの時期には水蒸気を吸収してしまい、早期に目詰まりを起こして集塵効果が落ちてしまうので、フィルターの汚れも早く効果的ではないように感じられます。

■図のシステムは特定の施工店のシステムではありません。地熱利用に対する一般的な解説ですので、悪しからずご了承願います。



北海道では、腐朽菌の被害から湿気対策として基礎に給気するパッシブ換気が行われて来ましたが、24時間機械換気が導入されても、パッシブ換気の基礎内部から換気する施工法が踏襲され、第一種換気や第三種換気を基礎に施工する施工店も多く、これを本州以南にそのまま導入したのが上図の基礎換気装置です。基礎の中はメンテナンスが困難で、更に低位置の給気口は露などの水分を取り込むので得に湿気の多い九州では、基礎内部の環境を悪くする危険性もあります。金属製の換気装置が基礎内部の湿気で錆びて故障するなど、様々な問題も発生しているようで、図のように換気本体を基礎内部に設置するメリットはほとんどありません。基礎換気を行うためには基礎に給気口を設けて、排気のための配管を行うことで充分です。14℃の地熱も外気温が低い場合は、冷気が基礎を回り込むため、ほとんどそのままでは使えません。排気口を床に設ける方法にも大きな問題があります。換気装置を基礎内部に設置するために、無理に排気口を床付近に設けているような感じがします。日常生活では塵は上部に舞い上がり、就寝時に床に下降しますから、排気口は普通に上部に取り付けた方が集塵効果が高くなると思います。第一種、三種を問わず換気装置は普通に取り付けた方が効率的です。

工法シリーズ 49 基礎内部に換気装置を配置する特別な根拠はありません。 百年住宅を建てる知識③！